

## 1. 観測位置（平成 17 年度）

自動車交通を主な原因とする大気状況が、道路周辺にどのように影響を及ぼしているのかを測定・監視することを目的に、平成 15 年度より自動車排出ガスの常時観測を行っています。



## 2. 観測項目（平成 17 年度）

観測項目	環境基準値（長期的評価）
二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）	1 時間値の 1 日平均値 98%値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質（SPM）	1 時間値の 1 日平均値の 2%除外値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

必要測定時間 6,000 時間以上

## 3. 観測結果

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度の環境基準との比較

観測局		環境上の条件	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の 最高値 (ppm)	日平均値が 0.06ppm超過 の日数 (日)	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数 (日)	日平均値の 98%値 (ppm)	環境基準 適合：x 不適合：x
国道1号	静岡市	大岩	363	8646	0.018	0.068	0.039	0	0	0.032	
		七ツ新屋	362	8638	0.026	0.073	0.042	0	3	0.039	
国道139号	富士市	伝法	355	8553	0.031	0.074	0.049	0	43	0.044	
国道1号	沼津市	大諏訪	363	8654	0.037	0.109	0.063	4	165	0.059	
国道246号	沼津市	岡一色	119	2847	0.035	0.077	0.055	0	27	-	注)

注) 岡一色局は測定時間が6,000時間未満のため評価をおこなっていない。

浮遊粒子状物質（SPM）濃度の環境基準との比較

観測局		環境上の条件	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.2mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 (時間)	日平均値が 0.1mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日が2日以上連続 したことの有無 有x 無	環境基準 適合：x 不適合：x
国道1号	静岡市	大岩	360	8634	0.026	0.127	0.080	0	0	0.061		
		七ツ新屋	363	8686	0.031	0.169	0.084	0	0	0.068		
国道139号	富士市	伝法	363	8685	0.037	0.164	0.107	0	1	0.082		
国道1号	沼津市	大諏訪	363	8685	0.043	0.153	0.112	0	1	0.082		
国道246号	沼津市	岡一色	119	2859	0.027	0.150	0.060	0	0	-	-	注)

注) 岡一色局は測定時間が6,000時間未満のため評価をおこなっていない。

## 4. まとめ

平成 16 年度に引き続き、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)、浮遊粒子状物質(SPM)ともに環境基準を満足しています。